

# あ お ば

## No.91

令和6年12月25日発行  
青葉中学校区青少年健全育成推進会事務局  
札幌市立青葉中学校 011-891-4351

### 「義務教育9年間を見通した生徒支援の在り方」 青葉中学校 生徒支援部 鈴木 克明

11月22日(金)、本校体育館において第2回小中合同研修会(兼第3回生徒指導研修会)が開催されました。小中合わせて30名ほどの教職員の皆様に参加いただき、活気に満ちた意義深い研修会となりました。

会の冒頭では堀教頭より講師の紹介を兼ね、問題行動への「初期対応」と「組織対応」の重要性についてスライドによる説明があり、生徒指導の根底を再確認することができました。

会の前半は小中両校でお世話になっている杉岡スクールカウンセラーによる講義でした。「保護者への対応の在り方とスクールカウンセリングの実態」と題し、子どもの問題について以下の5点についてお話がありました。①問題の成り立ち ②「ものの見方」と関わり ③家族の関係を困難にする「ものの見方」 ④苦情(クレーム) ⑤要求への対応 いずれも専門的見地に立った論理的説明と今までの豊富な経験を元にした具体的な対応を交えた説明だったため、私たちの今後の指導に生かすことができる貴重な学びになりました。

会の後半は「日々の生徒指導を柱としたグループ交流」を行いました。小中の教職員が融合した小グループで、様々な話題を取り上げ活発なトークが繰り広げられました。学年による発達段階の違いがある中、義務教育9年間を見通し、つなげる大切さを再確認することができました。

私たち教師は生活指導に関して「小学校は小学校のやり方、中学校は・・・」といった旧態依然の意識がまだ払拭できない現状が少なからず残っています。しかし今回の研修会を含め現在推し進めている小中一貫の様々な取組により、確実にこの意識は改善されつつあります。

これからも更に、小学校と中学校の教職員が、同じ方向を見つめ児童生徒の成長を支援する体制を構築できることを願っています。



### 「マット・跳び箱運動週間」

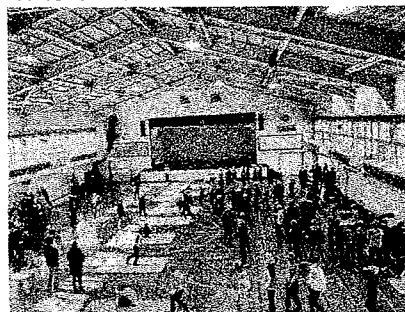
共栄小学校 行事部長 塩田 宙矢

本校では、今年度からマット・跳び箱運動週間を設定しました。これは、マットや跳び箱を一定期間出したままにすることで、準備や片付けの時間を短縮し活動時間を増やすといった取組です。また、中休みや昼休みにも体育館に行って練習をすることができ、自分の苦手な技に取り組んだり、好きな技の完成度を高めたりと、自分にあった活動を行うことができます。

この取組を行う前と比べると、マット・跳び箱運動の活動時間が倍以上になりました。これは、休み時間にも練習をできることが理由として大きく挙げられます。休み時間の活動では、好きな技を何回も取り組んだり、苦手な技ができるように一生懸命練習したりする姿が見られました。

児童会としては、「全校でマットや跳び箱運動を上手になろう」というめあてのもと、健康委員会の子どもたちが先導してこの取組を進めました。休み時間では、低・中・高学年に分けて体育館の割り当てを分担し、委員会の子どもたちもそこに参加します。委員会の子どもたちにとってもこの活動は初めてであり、手探りの状態で始まりました。最初は何をアドバイスしたらよいかわからなかったが、近くにいる先生に技のポイントを聞いたり、自分で手本を見せてあげたり、「分からないことはありますか」と聞いて回ったりする姿が見られました。また、委員会に限らずブロック学年同士で、上の学年が下の学年に技を教えたり、一緒に練習したりするなど、子どもたち同士でお互いに高め合い、全校でマット・跳び箱運動のレベルを上げていく様子が見られました。

今年度の取組は、試験的なものでもありました。しかし、子どもたちが進んで参加し、自信を付けている様子や、委員会の子どもたちの積極的な関わりなどから、来年度も引き続き行っていきたいと考えています。



## 「マッスルタイムで体カづくり」

新札幌わかば小学校 教頭 香川寛樹

本校校区内には、たくさんの公園があります。しかし、スポーツに親しむとなると、なかなか環境に恵まれているとは言えないところもあります。例えば、「野球をしたい」と思っても、近くの児童公園では狭くてできない上に、ボール遊びは禁止されていることが多いです。青葉中央公園のような野球ができる場所があっても、一緒にやる相手がなく、秋になると日が沈むのが早くて遊ぶ時間ありません。このようななかなか確保できない三間（空間、仲間、時間）を創出し、運動に親しむ取組を本校では休み時間に行っています。

【5月 ランランマッスル】グラウンドや体育館で、ジョギングやスキップ、もも上げダッシュなど

【5～6月 なげなげマッスル】グラウンドでゴムボールやソフトボール、体育館でロケットを投げる

【9月 なわとびマッスル】グラウンドや体育館で、音楽に合わせて縄跳びを跳ぶ

【10月 マッスルランド】グラウンドや体育館で、健康委員会が考えた様々な運動を楽しむ（障害物競走・ボーリング・ストラックアウト・バスケットシュート・ロケット的当てなど）

【11月 マット運動マッスル】体育館で、前転・後転や倒立・側転などのマット運動の技に挑戦する

【12月 跳び箱運動マッスル】体育館で、開脚飛び、台上前転などの跳び箱運動の技に挑戦する

授業時間以外になかなかできない運動に取り組めることや、仲間と楽しめるよさがあるマッスルタイムのおかげで、本校児童の体力は伸びてきています。

今度は、この取組のよさを地域に広げようと1月23日（木）14:30～15:10に本校体育館で「ちいきマッスル」というイベントを行います。詳細は、今後学校だより等でお知らせします。

厚別南地区センターでも案内をしますので、お時間のある方はぜひおいでください。

今後とも、地域・保護者の皆様の益々のお力添えをどうぞよろしく願いいたします。



## 事務局より

出勤時によく見かける光景がある。それは、朝早く地域の方がごみ袋と火ばさみを持って、歩道などに落ちているごみを拾っている姿である。時には、雨天時に合羽を着用して行っておられる。おそらく、自主的にボランティア精神で行っていただいていると推測される。地域の環境は、これらの方々に支えられていると実感する一瞬である。本校の生徒にも是非見てもらいたい光景である。誰かはわからないが、ごみを捨てる人は、捨てたごみについての想像力を働かせるべきだろう。



青葉中



新札幌  
わかば小



共栄小